

# カケコミのココロミ

“与えられる”から、“与える”へ  
こども食堂“たべよまなぼ”から、まかないこども食堂“TABEMANA”  
へ

非営利任意団体 KAKE COMI 代表  
精神保健福祉士

鴻巣麻里香

KAKE COMI

かけこみ寺 + community

# こども食堂

## 『おいしい塾 たべよまなぼ』



- 無償でごはんを提供
- ボランティアによる自主学習サポート
- 2015年9月開所、福島県白河市
- 毎週月曜（町内飲食店定休日を利用）
- こどもは無料＆「できることリターン（お手伝い）」
- おとなも「カンパ（またはSNS応援拡散）」で利用可能
- 毎週約15名のこども（実利用実績23名）が利用



6 人にひとり

学力の低下  
チャレンジする機会の喪失

食 事

# 「居場所」の必要性



「孤立」の当事者になって

今、できること探し

誰にとっての緊急の課題か

▶ ☒ こども

# 課題はなにか

- ▶  家庭の経済状況や学校に適応できるかどうかでこどもの将来の可能性が大きく狭められる

# 必要性はなにか

▶  食事

▶  学習の機会

私にできることはなにか

▶☒料理

▶☒勉強を教える

足りないものはなにか

▶☒場所と資金

# 取り組みからの気づき

▶ ☒ こどもたちの可能性

▶ ☒ 親の可能性

▶ ☒ 生産者のニード

# まかないこども食堂 TABEMANA

- ▶▶☒こどもシェフが料理
- ▶☒こどもは30分のお手伝いで無料  
(まかない)
  - ▶☒おとなは有料
  - ▶☒廃棄食材の再利用
- ▶☒休業日はフリースペース (居場所)



# オーガナイズングセンテンス

私たちは

（問題）家庭環境や学校への不適応でこどもたちの将来の可能性が閉ざされてしまうことを解決するために、

（戦略的ゴール）生きづらさを抱えたこどもたちの主な必要性である「食」を満たしながら彼らが誰かの役に立ち感謝され自身の強みに気づく居場所づくりに集中し、同志をオーガナイズし、

（同志の資源）こどもたちのできること・ママやパパたちのできることやつながり・ワンデーシェフ事業の利用・廃棄食材で社会貢献したいと願っている生産者（農家）ネットワークを使い、

（変革の仮説）まかないこども食堂TABEMANAのオープンによって、ゴールを達成する力（パワー・ウィズ）を生み出すために、

（戦術）こども食堂「たべよ・まなぼ」でつながるこどもたち・おとなたちとのプロジェクトチーム結成します。

のす=こーのすけ(鴻巣)

Nさん: ママ、カウンセラー、ママボラチームリーダー

YKさん: ママ、事務処理のエキスパート

Iさん: ママ、料理が得意、チョークアートが特技

Mちゃん: 高校生、こどもシェフチームリーダー

Yくん、Hちゃん: 中学生、シェフ

Kちゃん: 小学生、シェフ

KKさん: ママ、元IT企業プレス担当、  
プレスチームリーダー

TPさん: パパ、市役所都市開発広報関係の  
偉い人、ワンデーシェフ事業

KTさん: 商工会議所、イベント企画

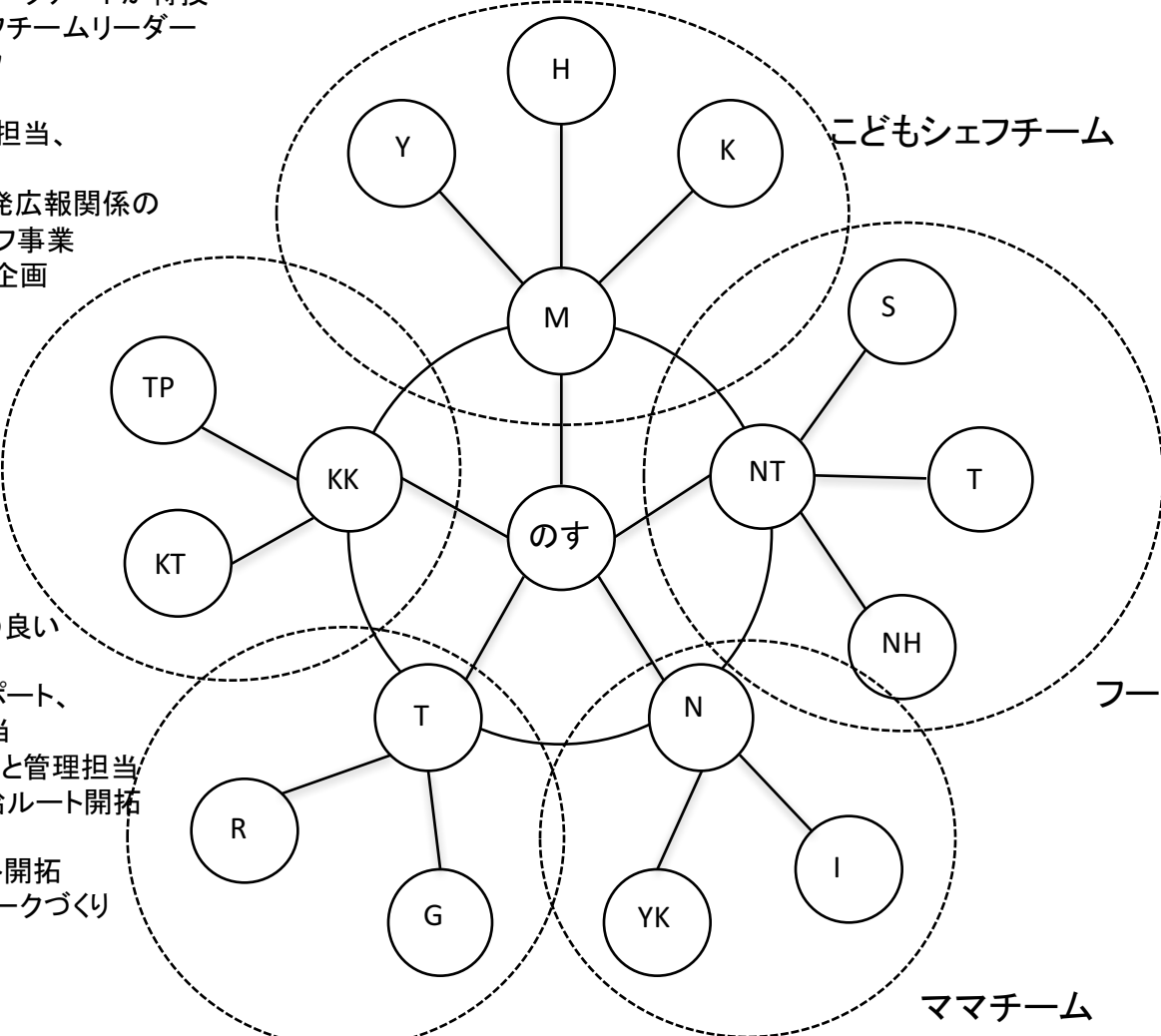
Tくん: 高校生、生徒会長  
こどもにとって居心地の良い  
空間プランニング

Rくん,Gくん: 高校生、学習サポート、  
こども向けPR担当

NTさん: ママ、農業、食材供給と管理担当

NHさん: ママ、農業、食材供給ルート開拓

Sさん,Tさん: こだわりの農家、  
食材供給ルート開拓  
生産者ネットワークづくり



こどもシェフチーム

プレスチーム

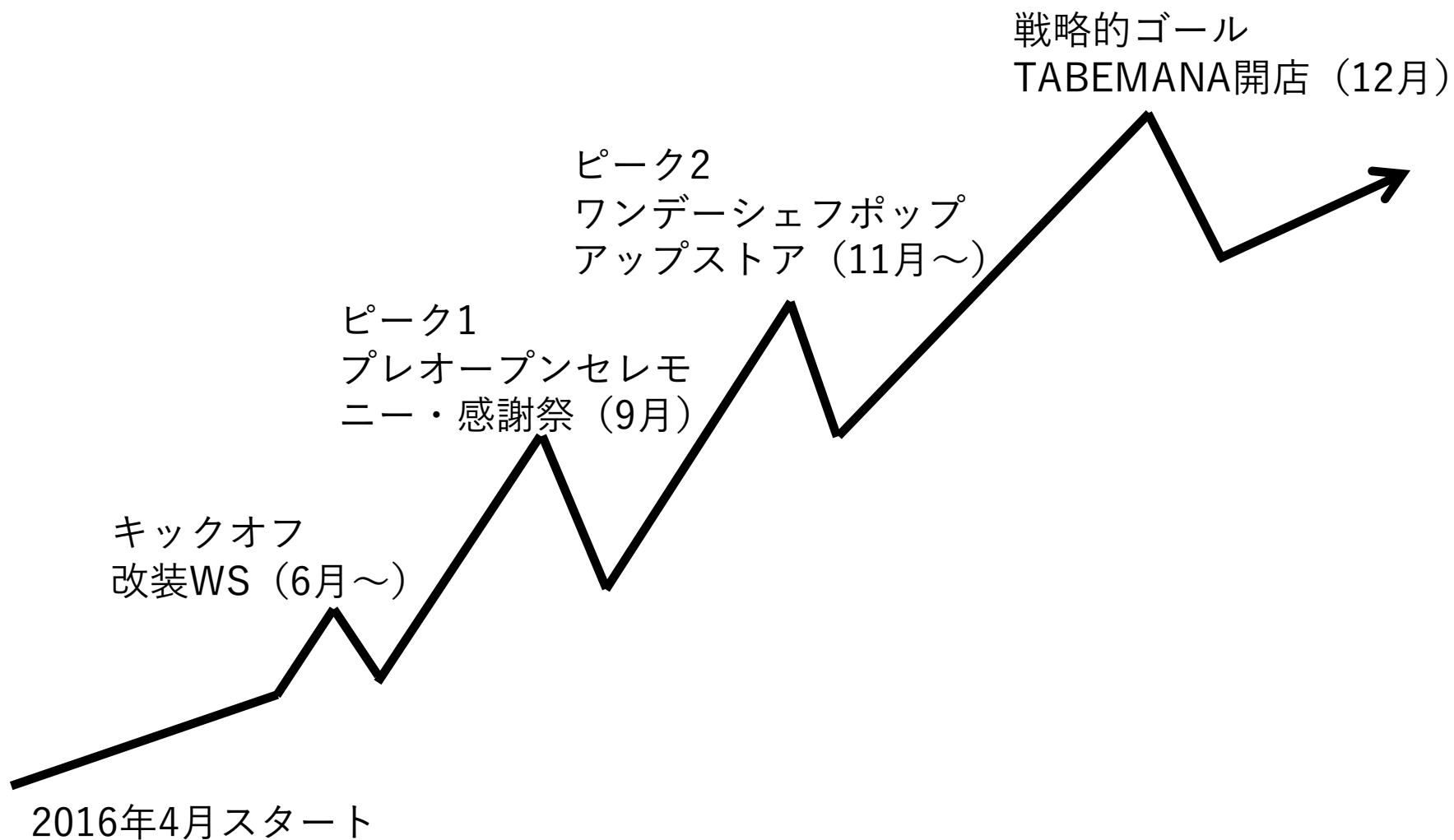
フードバンクチーム

ママチーム

高校生ボラチーム

# TEAM TABEMANA

# キャンペーンタイムライン



おいしい塾

たべよ・まなび

